

ダライ・ラマ14世

14th Dalai Lama

1935- チベット

チベット仏教の最高指導者であり、インドのチベット亡命政府の長。チベットの高度な自治権を求めるとともに、チベット人に対して中国共産党政府が行なった様々な人権侵害行為についての批判などの活動も行っている。1989年にノーベル平和賞を受賞。

1935 - Tibet

He is the supreme leader of Tibetan Buddhism and head of the Tibetan government in exile of India. He has been involved in demanding high autonomy of Tibet and criticizing the number of the violation of human rights by the Chinese Communist Party toward Tibetans. He had been awarded the Nobel Peace Prize in 1989.

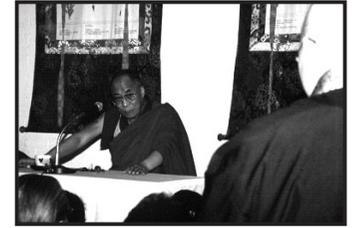
ダライ・ラマ14世

映像：レクチャー

「直感と創造」

1995年

55分



14th Dalai Lama

Video : lecture

“Intuituion and creation”

1995

55 min

<こころ・医・チベット展 1995年3月28日～5月7日より> 4月4日、80人以上のSPが見守るなか、ワタリウム美術館二階の展示場内でダライ・ラマの講演会はスタートした。テーマは「人間と創造性」。ダライ・ラマの英語の語りは歯切れよく、ウィットに富んでいて、片時も聴衆を飽きさせない。印象的だったのは、国を形づくっているのは、国境ではなく、言葉や文化だということ。だから、言葉や文化を守り続ける限り、世界のどこにいてもチベットは存在し続けるのだと。平和な日本に住む私たちとしては、ハッとさせられる談話だった。

ダライ・ラマ14世

ダライ・ラマ14世書

1995年

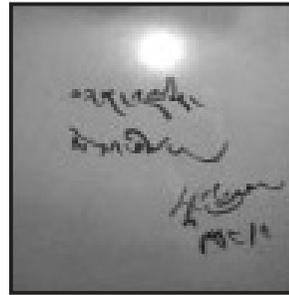
色紙に墨

14th Dalai Lama

Written by Dalai Lama

1995

Autograph in Ink



チベット語でテンジンチョペル（宗教の光の意）
と書かれている。